

令和元年度梅花流全国奉詠大会 登壇作法

1 登壇進行係の案内で上手より下手へ登壇する。

一列目 自分の位置に着いたら順次正面を向いて一礼し、法具を置き、椅子を確認しながら気をつけて座り、合掌で待つ。

二列目 自分の位置に着いたら順次正面を向いて一礼し、椅子を確認しながら気をつけて座り、教典を「ハの字形」に持ち、待つ。

三～四列目 一礼し、教典を「ハの字形」に持ち、待つ。

2 小鑿「1声目」

一列目 一礼し、法具を解き、教典を念じ、奉詠曲を開いて合掌で待つ。

二列目～四列目 教典を念じ、奉詠曲を開いて待つ。

3 司会「曲紹介」

4 小鑿押鑿「ガツ」奉詠開始

5 奉詠終了後

一列目 奉詠後、ただちに法具を組み、合掌で待つ。

二列目～四列目 唱念をし、教典を閉じ、「ハの字形」に持ち、頂いた後、待つ。

6 小鑿「2声目」

一列目 一礼し、起立してから法具を持つ。

二列目 一礼し、起立して待つ。

三～四列目 一礼のみ

7 小鑿「3声目」

一 同 客席に一礼し、右を向いて下手スロープより降壇。

以上